

たしかしま

Takashima City
Public Relations

広報

2015
平成 27 年
3 月号
No. 182

マキノ北小学校



たくさんの 思い出を ありがとう



今津西小学校

この春から、マキノ北小はマキノ東小へ、今津西小は今津東小に統合されます。

特集

閉校

①-⑥

こ

の3月をもって長い歴史に幕を閉じることとなった『マキノ北小学校』『マキノ北小学校在原分校』そして『今津西小学校』。地域に愛され、地域の教育の拠点として、人材育成の場であると共に、かけがえない「心のよりどころ」とし

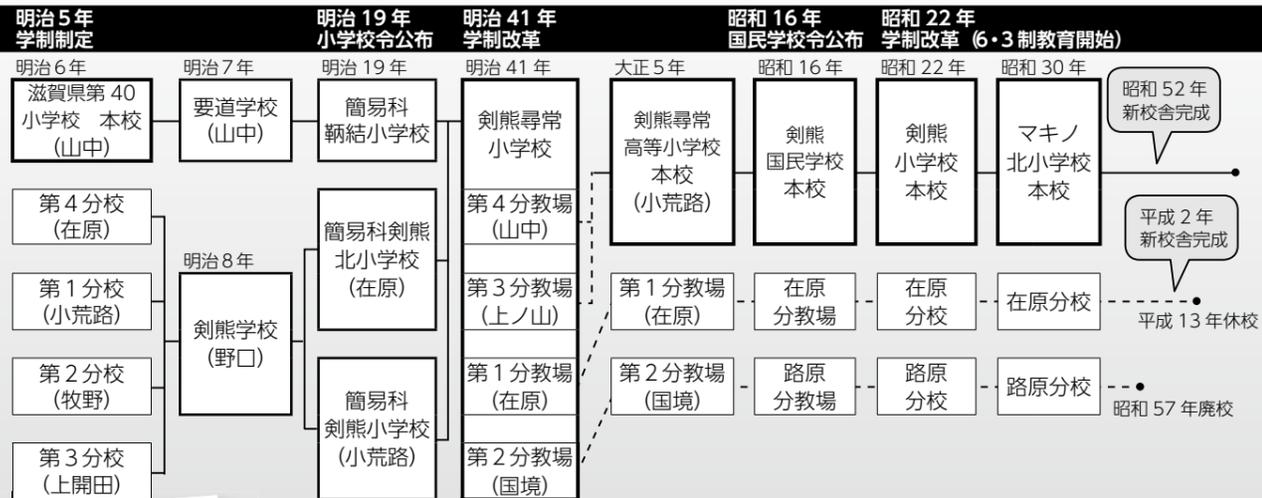
て長きにわたり地域と共に歩んできた学校。数多くの思い出をつくり、地域の皆さんに温かく見守られながら子どもたちは育ってきました。ありがとう——学校、そして携^{たす}わってこられた方の想いを込めて……。

主な内容

- 高島市への移住&Uターン!! フォーラム ……⑦
- 春を迎える今! 禁煙スタートしましょう ……⑫

- (環境センター) 第三者委員会による最終報告書まとまる… ⑭

マキノ北小学校の歴史



大正11年頃 校舎前で



昭和33年頃の修学旅行



昭和37年の旧本校舎



昭和39年頃の運動会



昭和40年頃の路原分校



在原分校



昭和29年本校舎前にて

ありがとう さようなら

(敬称略)

←題字は、在校生の子どもたちに一文字ずつ書いていただきました。



マキノ北小学校統廃合準備委員会
委員長 **本田 信幸** ほんだ のぶゆき

在原分校出身の私は、大きな行事などの時、歩いたり国鉄バスに乗って通いました。

運動会の際は最後の種目がいつも部落(地区)対抗リレーでしたが、

分校は児童数も少なく出場できず、帰りのバスのこともあり、最後まで参加できず残念な思いをしましたが、私が6年の時メンバーが揃い出場でき、しかも優勝したのです。非常に嬉しかったことを思い出します。

あれから50年余。北小が閉校になることは誠に寂しい限りです。



マキノ北小学校
校長 **桂田 浅義** かつらだ あさよし

マキノ北小学校区では、141年以上にわたり、地域の子どもは地域で育てようという熱い思いが脈々と受け継がれ、子どもたちのためならと労を惜しまない支援が続いてきました。

閉校に伴い、北小学校を介した子どもたちを育てる場は無くなりますが、地域づくりの場を通して、今後も地域の良さを知る地域の担い手づくりが継承されるよう願ってやみません。



マキノ北小学校PTA
会長 **小寺 末次** こてら すえつぐ

今では理解しているとは言うものの、やはり生まれ育ったマキノの北地区から子どもたちの声が聞こえてこなくなる寂しさは、きっとこれからますます増すものと思います。

時代の流れと共に仕方が無い事とむなしさがこみ上げてきます。北地区の子どもたちが臆することなく誇りをもち、より多くの友達と楽しく過ごせることを願うばかりです。



マキノ北小学校
児童代表 6年 **小多 沙奈** おださな

私はマキノ北小学校最後の卒業生となります。閉校と言われても実感がありません。

でもよく考えてみると、今まで先輩方が遊びに来てくださったり、運動会にボランティアで参加して下さったりしたことを私たちはできません。そう思うと本当に学校がなくなってしまうんだなあと、とてもさびしくなります。4月からは新しい学校に通うけど、マ北での思い出を忘れずがんばりたいです。

当校では、学校・家庭・地域が一体となった、児童の指導・育成に精力的に取り組んできました。特に、学校田を利用した食育学習では、地域の皆さんに協力をさせていただきました。田植え、収穫に至るまで子どもたちと一緒に活動をしていただき、収穫後には「実りのまつり」と題して、お餅つきなどの活動を通して食育を学ぶことができました。

自然の厳しさを乗り越え、地域の良さや課題を知り、ふるさとの良さを学びました。

マキノ北小学校ならびにマキノ北小学校在原分校は、開校して以来141年の長い歴史を刻み、約3000有余人の卒業生を送り出してきました。

豊かな自然と
温かい地域に支えられ
確かな学びと
自治の精神が息づく学校



マキノ北小学校

誇りをもって自己の「志」に向かってたくましく生き抜く子どもたちの育成のためにはなくてはならない行事となり、毎年地域の皆さんや子どもたちが楽しみにしていました。

マキノ北小学校。そして、マキノ北小学校在原分校。地域と共に心よりごころとして数多くの思い出を残してくれた学校。

長い歴史を引き継ぎ、新しい一歩を踏み出します。

閉校式を開催します

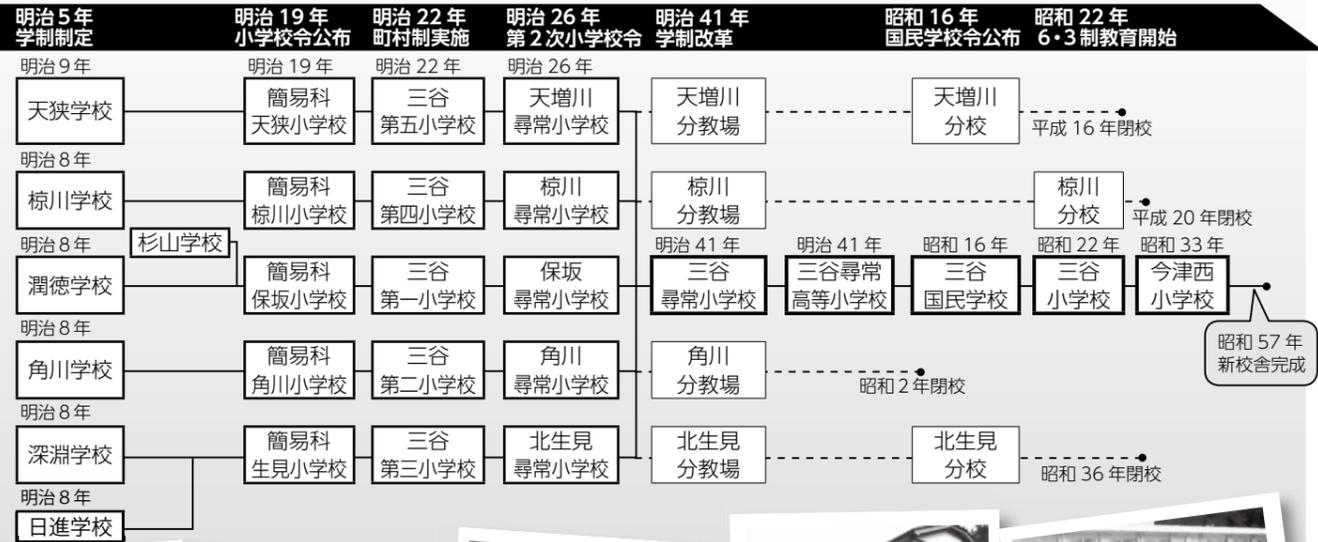
次の日程でマキノ北小学校閉校式を開催します。

卒業生や恩師による「思い出を語る」コーナーや児童の音楽発表、思い出の写真スライドショー、茶話会などを計画しています。地域の皆さんや卒業生、元職員の方々など、たくさんの方のご来校をお待ちしています。

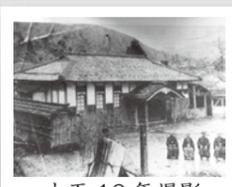
日時 **3月29日(日) 13時30分**

場所 **マキノ北小学校体育館**

今津西小学校の歴史



明治 44 年 三谷尋常
高等学校卒業記念写真



大正 10 年撮影
椋川分教場



昭和 17 年頃の運動会
子どもの多さに驚く



現在の今津西公民館の
位置にあった旧校舎



校舎新築後、初の運動会
この時期でも鼓笛隊が編
成



地域のつながりを学んだサロン



昭和 57 年に竣工した校舎

さようなら 今つ西小学校

(敬称略)

←題字は、在校生の子どもたちに一文字ずつ書いていただきました。



今津西小学校統廃合準備委員会
委員長 栗田 俊栄 くりた としえ

学校は学び舎でもあり地域住民と集い繋がる場です。その繋がりを求め都市部より当地区に移住して来られる方もいらっしゃいます。

しかし、少子高齢化が進み、児童が減少する中、明治から平成の長きに渡り 2,000 人余りの卒業生を送り出した学び舎がなくなろうとしています。今まで西小学校を支えてくださった地域の皆様に心より感謝申し上げます。また、学校を核に今まで培った一人一人の絆を大切に、これからの今津西地区を皆さんとともに創れたらと思いますので、今後ともご協力よろしくお願ひします。



今津西小学校
校長 玉木 一成 たまき かずしげ

四季折々の豊かな自然、地域の人の温かな眼差し、教師の一言一言が子どもたちの心に染み通っていく教室。

今津西小学校の教育には、他人を思いやり、生命や人権を尊重し、自然や美しいものに感動する「豊かな心」を育む活動が溢れていました。

今津西地区には、子どもが素直にのびのびと育つ素晴らしい自然環境、人的環境がありました。

子どもたちには、西小で培ってきた力を信じて、今津西地区に住んでいることに誇りを持って、新しい学校生活を送ってほしいと思っています。



今津西小学校 P T A
会長 是永 宙 かねなが ひろし

地域の人に見守られ、それを子どもたちがしっかりと感じ取りながら成長してくれたことが、今津西小に通っての最大の宝だと思っています。

今回の統廃合は本当に残念でありませんが、今津東小学校と西地区とが、学校ぐるみで関わられるような取り組みを提案し、実現できるようにしていきたいと思っています。



今津西小学校
児童代表 6年 是永 弥里 かねなが みさと

私の小学校生活は、机 2 つから始まりました。

全校は 6 人でしたが、これから先何か楽しいことが起こりそうな気がしてワクワクしていたのを覚えています。

自然に囲まれた今津西小学校で山菜採りや田植え、近くの山を登ったり、地域の人との行事やサロンでの時間が大好きでした。

友達が少ないのはさみしいけれど、私は今津西小学校に通えたことを誇りに思っています。

多いときには 250 人を越えた児童も、過疎化、少子化により激減し、近年は児童数数名の県下最小規模の学校となりました。西小学校ではその小規模校の特徴を活かし、一人ひとりの個性に応じたきめ細かな指導を行ってきました。また、豊かな自然や地域との結びつきを大切にしながら、まな体験学習を進めてきました。保護者・地域の人と共に取り組む農業体験学習。地域の人を招いて行う学習発表会、収穫祭。地域住民、地域にある福祉施設、学校が合同開催で行う西地区合同運動会。

明治時代より 140 年あまりに渡って 2000 有余人の卒業生を送り出し、地域の核として大きな役割を果たしてきた今津西小学校。

豊かな自然と
温かい地域の人々に囲まれ
個に応じた学習指導と
豊かな心を育む体験活動を展開



今津西小学校

閉校式を開催します
次の日程で今津西小学校閉校式を開催します。
代表となる恩師や卒業生の代表の方から想い出を語っていただいたり、西小学校の思い出のシーンを写真で綴るスライドショーの上映などを行います。卒業生をはじめ、保護者・地域・恩師など皆さん方と今津西小学校の思い出が語れるひとときを過ごしたいと思っておりますのでぜひご参加ください。

日時 3月28日(土) 9時30分

場所 今津西小学校体育館

小学校が地域の人々の交流の場になり、子どもたちは地域の人々との交流を通して、この地域の歴史や文化、人の繋がりの大切さを学んできました。
小学校が閉校することは大変寂しく悲しいことですが、西小を核にして培ってきた人々の繋がりを大切に、新しい西地区を創っていきたいと考えています。



伝統を受け継ぎ

明治・・・
各学校の歴史はここから始まりました。
それから大正・昭和・平成と
100年を超える長い歴史の中で
数多くの卒業生を送り出して参りました。

学校・家庭・地域が連携して、
環境を活かした教育活動を実施し
地域の皆さま方の温かい見守りの中
で子どもたちは育ち、学んできました。

想い出深い学校がなくなる事は
皆さま方にとって大変残念なこと
であり、断腸の思いであることと
お察し申し上げます。

しかし、これは新しい歴史の始
まりでもあります。

子どもたちは今まで継承された
魂を受け継ぎ、新しい学校でたく
さんの友達と心身ともに健やか
に、そしてたくましく育ってほし
いと願うばかりです。

学校跡地の利活用 ～新しい価値を育てる 地域の夢の舞台に～

地域がもつと元気に活性化し
ていくために、皆さんと共に知
恵を出し合い夢の舞台となるよ
う進めていきたいと考えていま
す。

現在、平成27年度末に閉校と
なります広瀬地区を含め、学校
跡地利用検討委員会を設置し、
閉校後の学校の利活用につい
て、地域や保護者の皆さんを中
心に検討を進めています。

今後は地域の皆さんへアン
ケート等を実施しますので、ご
協力よろしく申し上げます。

図 教育総務課

☎(32) 1132



期待と希望をもち 未来へ・・・